

京都教区時報

小教区の貞一山 国教会
特集—京都司教区現勢調査報告

働く人は少ない
に答えてほしい。
今人が若者達を召命と促すのに、何んとなくためらうに理由がある。
教会は若者たちが快適に聖務に励める状態でないかもしない。又本人や両親たちに召命への犠牲を強いる勇気がないかもしない。他方、若者や親たちからの次の様な痛烈な批判がある。「神父さん。あなたのすばらしい人柄と、聖務に対する熱意を、喜びを示し



働き人が送られるよう祈れ

昭和53年4月(54号)に同じ標題で冠頭言を書かれた藤堂師は今、重い病の中、自らの生命と戦っております。師の闘病の姿は、まわりに深い感動を与えている。願くは、師がこの病を克服され、又元気な姿で、私達のために働いてくださる様に祈りたい。若者よ、教会の未来は、あなたの方の掌にある。どうか生き生きとした明日の教会を担うものとして神が召されるその呼びかけに寛大

刈り入れは多いが
たからではなく、主が「お好みのものを選ばれ」、「私が先にあなた方を選んだのだ」と言われます。とすれば司祭や修道者の人柄に躊躇のは何か考えものです。

二、何のために召されたのか。「牧者のない羊を見られた」のです。召出しを考える時、司祭や修道者の生き様を見ます。そしてあんなのは自分ではない。又は自分の子は捧げられない、と言います。でも私達が見なければならぬのは、迷っている羊達の方で、躊躇してくれる司祭・修道者(?)のことではないでは? もしかれば躊躇せられるなら、「彼らに任せておけない。自分達の子等の中から」と言う気概もあってよいのではないかですか。

三、「祈りなさい」と主は言われる。他人の子が、働き人になる事も大切ですが、自分や自分の子等に対する呼びかけとして真剣に聞いて見るべきではないでしょうか?

今邦人司祭の平均年令約52才、18名です。今年のはじめ松田師を失くし、邦人司祭の中で健康面で一応問題のない人は数名です。司祭達はたぶん自分がぼろぼろになつてもよいと思っているでしょう。でも……。幸い教区大神学生4名、小神学生1名、います。でもまだ若い人々が後をついてくれることを待っています。そして今、いるすべての司祭・修道者・神学生がその初志を全うすることができる様、祈りましょう。

てください。そうしたら私たちも……」

そこで司祭たちは、たじたじとなるのです。

でも福音書をちょっと読み直してみましょう。

一、召出るのは神です。キリストが恵みにより自由に選ばれたのです。弟子が何か優れていたからではなく、主が「好みのものを選

ばれ」、「私が先にあなた方を選んだのだ」と

言われます。とすれば司祭や修道者の人柄に躊躇のは何か考えものです。

△5月17日(日) 邦人司祭例会 M.M. 総

△5月20日(木) 会(於関西セミナーH)
△5月23日(日) 富雄堅信

△5月28日(金) (社)教区カリタス会理事会
△5月30日(土) 河原町堅信。安土セミナ

△5月31日(日)～6月5日(土) リオ

△6月6日(日) 司教協定例総会

△6月6日(日) 全国一斉祈禱日(反核軍縮)
△6月8日(火) V大使 洛星30周年(駐日)
△6月27日(日) 平和祈禱行進
(信愛→円山)

教区短信



- ▽6月7日(月) 駐日V大使京都北部訪問
- ▽6月8日(火) リ園部、八木訪問(内藤ジゅアン頭彰碑除幕)
- ▽6月13日(日) 高野堅信
- ▽6月20日(日) 龟岡堅信
- ▽6月27日(日) 九条堅信
- ▽6月28日(月) 教区内男女管区長会「食と祈りの日」
- ▽7月5日(日) 司祭評定例会
- ▽7月18日(日) 子羊会の集い

社会と共にをテーマに

(三重信徒大会)

去る4月29日、津市セントヨゼフ女子学園で、田中司教はじめ、三重県での司祭、修道者、信徒約250名が参加して、第七回三重県信徒大会が行なわれた。

午前の部は、田中司教と県の全司祭14名による、共同司式の莊嚴ミサにはじまり、昼食をはさんで午後の部は、県での



ビジョンに向って

感謝と前進

西陣創設75周年祝典

教会から福音宣教、社会活動を主体にした報告や歌、踊り、郷土芸能などが披露され、それぞれの教会に与えられた神の恵みに感謝しつつ、教区ビジョンの具体的実践の決意を新たにした。

三重県の信徒大会は、昭和46年から一
年おきに開催される、三重県信徒連絡協議会の行事の一つであるが、本年は第六回大会(四日市)以後、教皇訪日、マザーテレサの来日、教区ビジョンの発表を

芸能「尾鷲太鼓」が勇壮な音を響かせ、私たちを励ましたのは、尾鷲教会が、日常、市民と共に郷土の文化を大切にしている証拠であり、本大会で第二回国連軍縮総会に県民を代表して出席する津聖心教会の宮西いづみさんの紹介と激励が行なわれた時、社会と共に歩む教会の姿を見たとも云える、感動的な大会であった。

(文責・藤井)

5月16日、西陣教会(主任浅田師)では、75周年記念祝典を田中司教臨席のもとに盛大に祝った。

10時より、洗礼、堅信、初聖体を含む記念ミサが行われ、記念撮影の後、祝賀

受洗者が生まれてから75年がたつ。教会

の位置も、大宮下立売、黒門中立売、大宮華屋町、大宮中立売、そして現在地へと転々とし、特に戦前戦中の困難な時代にはおれない。当教会は河原町につぐ古

い歴史をもつ教会であるばかりでなく、この教会は守り通された。最近信徒使徒職の要請が語られているが、当時は社会

状勢がおのづとその様な働きにかりたてた様である。信徒の願いは、とにかくミサに来ていただこうと頼んでいた。そういう貴重な体験は何か現代を先取りする様な感がある。

信徒の役割、司祭の役割、そういったものはまさしくつくりとしていたように思ふ。又日本家庭の時代は、家族ぐるみの信者が多かつたせいもあるうが、場所

が場所だけに家族的な雰囲気が特徴であった。歴代の主任司祭の中から3名の司教を出し、多くの司祭修道者の召命を出したのも、ただ歴史の古さを物語るだけ

した。西陣教会では、今年を75周年とし

た。そこで、神父様のお祈りを持げられるお姿、心こもった暖かい、ゆったりした

教会の雰囲気をなつかしく想っています。そちらの神父様のお祈りを持げられる

とは最近、授洗したばかりで御主人の転勤で教区外へ転出していった信者さんからのお手紙。一ヶ月たつても先方の教会から返事が来ず、案じていた矢先のことである。

京都教区の教会はお互いに気をつけ、暖かい受け皿になりましょうといつた

意味ある年にすることを決議しており、種々の行事を計画中である。

「教会の魅力はどこ?」

「先生には大変お世話になりました。こちらの教会にかわって、今は日曜だけ伺っています。教区外

への転出のためいたいた紹介状と証明書の入った封筒を、神父様にご挨拶した時お渡ししようとしたのですが、中をござらんにならず、「それは事務所へ出しなさい」とそれつき。シスターもお見かけしましたが、ミサに来られるだけの様子。司祭は古屋司教一人で、一時教会閉鎖のばかり。結局又持つて帰ったという始末です。月末には婦人のミサがあると聞いていましたので、それまで待とうと思っています。

二、三の方に聖書研究会を開きました。そこで、婦人のミサがあると聞いたら、「洗礼をうけているなら、もう勉強はすんでいるはず。洗礼前の子どもなら日曜学校に来ればよろしいし、そんな会はありませんよ」の返事にがっかり。神父様は30代の方です。思いきって聖書を学ぶ会をもつて下さるようお願いしようかと思っていますが……。

そちらの神父様のお祈りを持げられるお姿、心こもった暖かい、ゆったりした教会の雰囲気をなつかしく想っています。そちらの神父様のお祈りを持げられるとは最近、授洗したばかりで御主人の転勤で教区外へ転出していった信者さんからのお手紙。一ヶ月たつても先方の教会から返事が来ず、案じていた矢先のことである。

京都教区の教会はお互いに気をつけ、暖かい受け皿になりましょうといつた意味ある年にすることを決議しており、種々の行事を計画中である。

司教の足どり

三月～五月

(古) 古屋司教見舞
(藤) 藤堂神父見舞



30日 O 医師來訪。
29日 (社) 教区カリタス会理事会。
28日 (H) 河原町ミサ。O 医師米訪。
27日 0 日赤婦長と面談。(藤)
26日 エズス会代表來訪。藤堂師二母
堂來訪。
25日 希望の家保卒園式。東門師見舞。
24日 東門師見舞。同主治医面談。
23日 教区幼稚園連盟研修会。(東門
師入院・手術・高折病院)
22日 聖母の騎士(女子)総長等と面
談。聖母の家学園理事会・同卒
業式(四日市)
21日 (H) LM コミチウム・アチエス。
20日 Sr MG 来訪(藤堂師について)。
19日 同右司教委。
18日 ライフ師(元神学院長)葬儀ミ
サ(東京イグナチオ)。東京神學
院常任司教委。

17日 (藤) 相馬司教來泊。(古)
16日 WCRP 平和研修会(知恩院)。
15日 同右委。
14日 藤堂師ご母堂と面談(南勢カト
リ特老より上洛)。司教協機構検
討委(東京)。
13日 聖要会・汚れなきマリア会代表
來訪。
12日 O 師來訪。ND 理事会。
11日 (H) 復活祭壮嚴ミサ主祭。(藤)
10日 (H) 草津幼稚園開園式。聖母の
祭主祭。
9日 (金) (藤) 再度「病者の塗油」。
8日 (木) 聖香油ミサ・認定式(田中)、
教会奉仕者(大塚・木村)。
(藤) 最後の晩さんミサ。
T 主治医と重要電連。

7日 教区神学生來訪。
6日 (藤) A 師・M 師と面談。(古)
5月
30日 日赤 M 婦長と面談。
29日 (木) 三重県第七回信徒大会(セント)。
28日 ND ミサ。諸宗教局員会(東京)
J MPC 理事会。
27日 1日 S 師と面談。身体障害者の集い。
26日 2日 (H) 河原町ミサ。壯年会代表と面談。
25日 3日 小さい兄弟來訪。(藤)(古)
24日 4日 O P シスターへ講話(今出川)。
23日 5日 高山右近ことも祭(大和榛原)。
22日 6日 H 女子と面談。(古屋司教退院)
21日 7日 (藤) 「平和祈禱行進」準備会。
20日 8日 O・N 両師と共同作業。B 師と
面談。国際宗教同志会(高山寺)。
19日 (H) 細川ガラシア夫人隠棲地40年祭
(奥丹後・味土野)。
18日 (H) 上野・名張堅信ミサ。M 師と面
談。

田中健一司教認可
祈禱書「祈の友」
第4版 P 624
発売元 ◇ 宇治カルメル
取扱い ◇ 三条YBU書房
* 修道院直接御注文の際
3部以上 10%
20部以上 20%
50部以上 25% 割引

製菓材料・舶来食品
和洋酒・修道院製クッキー
ミサ用ブドー酒
タキノ

〒604 京都市中京区錦小路通烏丸東入
電話 (221) 0976-7

あなたの良き隣人として
カトリック御葬儀・貨物一式(仏式可)
聖ヨゼフ葬典社

パウロ 杉下安雄
京都市右京区西院寺町23
電話 (075) 312-7829
(075) 771-7577

31日 N 職員來訪。藤堂師ご母堂來
訪。

4月
1日 聖要会代表來訪。

2日 聖ヨゼフ整肢園新旧院長來訪。

3日

4日 (H) 南勢カトリ特老10周年。

5日 諸宗教委。MM管区長(東京)
T 主治医と重要電連。(東門師
退院)。

6日 (藤) A 師・M 師と面談。(古)

7日 教区神学生來訪。

8日 (木) 聖香油ミサ・認定式(田中)、
教会奉仕者(大塚・木村)。

(藤) 最後の晩さんミサ。

T 主治医と重要電連。

9日 (金) (藤) 再度「病者の塗油」。

10日 (H) 草津幼稚園開園式。聖母の
祭主祭。

11日 (H) 復活祭壮嚴ミサ主祭。(藤)

12日 O 師來訪。ND 理事会。

13日 聖要会・汚れなきマリア会代表
來訪。

14日 藤堂師ご母堂と面談(南勢カト
リ特老より上洛)。司教協機構検
討委(東京)。

15日 同右委。

16日 H 師來訪。司祭評常任委。反核
軍縮街頭署運動(修女連)参加。

17日 Sr T 来訪。

18日 (H) 上野・名張堅信ミサ。M 師と面
談。

19日 教区付邦人司祭月例会。津教会
新建築契約。D 師と面談。

20日 Sr M と面談。(藤)

21日 O 師・G 助教授來訪。

22日 中央協・カトリック新聞社訪問。

23日 同右委。真和会講演(東京)。

24日 聖母の家学園表彰式(四日市)。

25日 (H) MM管区長と面談。O 師來訪。

(藤) (古)

26日 司祭評定例会。6・6準備会。

教区内男女管区長会議。T 主治
医と重要電連。

27日

28日

29日 (木) 三重県第七回信徒大会(セント)。

30日

31日

そこで、司祭の老令化を悲愴感をもつてみると、今こそ自分達の使命が求められている事を示されていると見るべきであろう。又、内向きの姿勢から外向きへの改心を必要としている事を意図している。

その説明の後、会計報告、会計Sr.鈴木・書記Sr.上谷の選出。後、日本カテキスト会会长、鶴巻氏の話。特にカテキス

タの教会における位置と役割を明確化、信徒を内側にかりたてるのでなく、社会に開かれた教会の垣根の外に生きる人々に対応する様に目を向けるべきである。

自分としては信徒徒職の日と云う日を定めてほしい、等の話しがあり、最後に川口氏(尾鷲)のフィリピン報告をもつて閉会した。

日頃の活動を感謝するとともに、この様な方々の会があい互いに学び合い、励まし合っていく集いがあることを報告したい。

KCC総会



た。辻会長は、テーマの主旨を説明。

それによると「司祭の老令化を悲愴感

をもつてみると、今こそ自分達の使命が求められている事を示されていると見るべきであろう。又、内向きの姿勢

から外向きへの改心を必要としている事を意図している。

桃山三連勝 南山城地区 合同運動会



折から闘病中の藤堂師の不在は九条教會をはじめ、みなに淋しさを憶えさせ、師の無事に回復を祈った。尚桃山が三連勝し、世光教会の活躍、子供の多数出席した桃山基督教會の奮闘が目立った。

右近さま、細川ガラシアさま

京都は切支丹ゆかりの地であることが意外と忘れられている。その忘れた跡を発掘するための努力が切支丹研究会によってなされている。

草津カトリック幼稚園 新園舎祝別

(園長 三侯俊二)



5月5日、大和櫻原では右近なども祭りが、沢城址で、田中司教主式ミサ、顕彰行列、右近さま踊り、運動会などが行われ、右近さま踊り、運動会などが行われた。

月10日田中司教を迎えて祝別式を行った。

今回増築されたのは、保育室四室、手

の取次を祈ろう。

このたび新園舎増築工事が完了し、4月10日田中司教を迎えて祝別式を行った。

このたび新園舎増築工事が完了し、4月10日田中司教を迎えて祝別式を行った。

4月29日、第5回近隣小教区運動会が桃山基督教會(聖公会)世光教会(日本基督教団)参加のもとに、伏見、桃山、宇治、田辺八幡、九条、山科、8教会对抗で行われた。本運動会の特徴は、エキュメニカルな運動の一端として行われるトマト活動」と云うテーマで行われた。11時、ミサ中ウイツチ師は、信じたことを行わねばならぬと云う主旨の説教をされ、後、総会に入つた。辻会長は、テーマの主旨を説明。

それによると「司祭の老令化を悲愴感をもつてみると、今こそ自分達の使命が求められている事を示されていると見るべきであろう。又、内向きの姿勢から外向きへの改心を必要としている事を意図している。

その説明の後、会計報告、会計Sr.鈴木・書記Sr.上谷の選出。後、日本カテキスト会会长、鶴巻氏の話。特にカテキス



5月9日、京都北部の教會は、竹野郡弥堂町味土野で、右近と親交のあつかつた細川ガラシアの隠棲400年祭を田中司教主式ミサ、聖母行列で祝った。参加者約250名。味土野はガラシア夫人隠棲の地であった。

5月23日、都の聖母、顯彰ミサが、将军塚において行われた。この聖母は京都の地が聖母の保護によって多くの実を結ぶ様に願つてうめられたもので、この御像は河原町教会に保存されている。

5月23日、都の聖母、顯彰ミサが、将军塚において行われた。この聖母は京都の地が聖母の保護によって多くの実を結ぶ様に願つてうめられたもので、この御像は河原町教会に保存されている。

西院教会バザー 6月6日・10時より
共催◆B・G両スカウト 西院教会
目的◆アジア・アフリカ難民救援とスカラート活動の推進。

このバザーを通して、社会とともに歩む教會としての実践に当るとともに、社会の福音化に向けて歩みたいとの思いから生まれたものである。

尚当日難民写真展を開催する予定である。

マルグリット・ブルジョア列聖

(コンゴレガシオン・ド・ノートルダムの創立者)が今年10月31日列聖される

云う朗報が入った。聖女はフランスに生

まれ、カナダにわたって一六五三年、聖母に献げられ、若い女性の教育に専心す

るための修道会を設立。同会は日本には

一九三三年來日、以後50年福島をかわき

りに教育に専念。京都では登美ヶ丘教会で、布教と幼児教育に献身している。聖女

の取次を祈ろう。

拡大編集会議 要約 報告そのII

入れてはいるので余ることはないし確実に行き渡っている。

(議件II)「時報」についての意見の交換

○教区内のニュースについては、たしかによく知ることができる。しかし時報の使命はそれだけではないと思う。もっと指導的な役割を担つた記事があつてもよいのではないかと思う。その他、言葉の使い方が固い印象を持たせるよう思う。

○各小教区の方にお聞きしたいが、時報の配布状況又は方法はどうですか?

○余る時もあれば一枚もなくなつてしまふ場合もある。ちょうどよい部数をもらつていると思う。

文體については、先程のご意見に賛成だ。もつとやわらかくしてよいと思う。少しづつでも、司教様のお考えを知事ができる、そんな記事がほしい。

○たとえば趣味とか、そのほか日常生活で密着した何かがほしい。官報的なものでなく、読む人が同時に紙面をもつくりていく、という考え方だ。

○私の小教区では、時報は「テキスト」という程度の考え方が多い。しかしこれだけ広い範囲の、そして多くの信者達のための時報に、小教区なりの機関紙をという考え方は、要求する方に無理がある。

時報が余る、という事はないので、一通り行き渡つてゐるようと思う。時報に关心を寄せる人は他にもあると思うが、そういった人達に何らかの参画の機会を与えてほしい。

○私共の方も配布は各信者毎のラックに

社会とともに歩む教会

山田経三師(イエズス会)

(注)教区ビジョン作りに大いに助言くださった山田師は「社会とともに歩む教会」勉強会にも講師として参加下さっておられるが、次の一様な文を寄せられた。

○私は時報についていろいろの課題はあるとしても、果たしている役割はとても大きいと思う。会つたこともない人達の話、活躍ぶりを知ることが、共同体としての連帯意識を強めてくれている。

注文したい事は何もない。

○二、三週間で全てなくなってしまう。「司教の足どり」が特におもしろい。内容について言えば、いわばNHK的、音楽でいえばクラシック一辺倒の気がする。おもしろ味にかける。ネクタイを締めた形でなく、もつとボビュラーな雰囲気を期待している。

○聖堂のうしろに積んでおいてるが残つてしまふ事が多い。殊に婦人層の関心が薄いように思う。いろいろご意見を聞いたので工夫してみたい。私としては、婦人や青年のために有益な記事、あるいは貢をさせてもらえばと思う。

「私たちはこの社会のあり方に迎合するのではなく、社会・人々の中にある福音的なものに協力する反面、社会の中にある非人間的なもの、福音の精神に反するものに対しては、はつきりと声をあげ、賢明にこれを正す」ことについて、この場では、とくに平和の問題に焦点をしぼつて考えてみたいと思います。

第一回の勉強会「平和と軍縮の問題」の日は、折しもシスター方が街頭で「核兵器禁止・軍縮」署名運動に勧んでおられた時でした。「今、なぜ反核?」「反核は反米につながる」「教会がなぜ『政治的に』」「政治的音痴は慎しむべし」「改善が本当のところである。

靖国公式参拜・教科書検定強化・軍備拡張は当然だ等々もつともらしい反論が今後とも続出することでしょう。

「社会と共に歩む開かれた教会」を本腰を入れて実現しようとするとする者にとっては、ます弱い立場におかれている人々の現に向き、社会問題に具体的に取組むと共に改めて福音を発見する

ことが必要でしょう。実践を通してはじめて、ほんものとせものをみわける力(靈動識別)、聖霊の導きの必要性を痛感し、それを確認することになるからです。

「私が地上に平和をもって来たと思つてはならない。剣だ。(マタイ10:4)」といふことは、聖霊を悲しませることになるからです。年間行事の一環として取上げられることになった第二日曜日の月例勉強会にイエズス会社会司牧センターからも協力させていただくことになり、今後とも皆さんと共に歩んで行きたいと思っております。

「私たちはこの社会のあり方に迎合するのではなく、社会・人々の中にある福音的なものに協力する反面、社会の中にある非人間的なもの、福音の精神に反するものに対しては、はつきりと声をあげ、賢明にこれを正す」ことについて、この場では、とくに平和の問題に焦点をしぼつて考えてみたいと思います。

最後にエベソ六一12—22を中心留めながら京都教区のビジョンが全教区民の日々の生活を通して受肉し、根づくためにおこなわれます。だからこそ、社会と共に歩み、平和を築きあげようと努める人は「蛇のようにさとく、鳩のよにすなおこなわれます。だからこそ、社会と共に歩み、平和を築きあげようと努める人は「蛇のようにさとく、鳩のよにすな

たいものです。

1981年度 京都司教区現勢調査報告 (1981.1.1~12.31)

概況

面積	1,897,48km ²
(京都府・滋賀県・奈良県・三重県)	
人口	6,587,198人
信者総数	19,971人
信者実数	17,111人
求道者数	454人
小教区数	44
巡回教会数	18

人員構成

	邦人	外人
司教	2	
司祭	22	68
修道士		13
神学校生修道会	5	
修道女	1	
聖母カテキスト会	247	42
合計	20	

修道女

() 内は志願者

	邦人	外人
ノートルダム教育修道女会	62(2)	12
聖母訪問会	41	
ヌヴェール愛徳およびキリスト教的教育修道会	30	1
幼きイエス修道会	21	
ウイチタ聖ヨゼフ修道女会	20(2)	6
カルメル会	12(3)	1
カロンデレットの聖ヨセフ修道会	9(1)	5
聖ドミニコ女子修道会	8(4)	
聖心のウルスラ修道会	8	2
聖ドミニコの宣教修道女会	6	
メリノール女子修道会	5	9
コングレガシオン・ド・ノートルダム	8	
シャルトル聖パウロ修道女会	2	
カノッサ修道女会	3	1
善きサマリア人修道会	8	4
聖ウルスラ修道会	2	1
イエズスの小さい姉妹の友愛会	4	
愛徳カルメル修道女会	3	
汚れなき聖母の騎子	5	
聖フランシスコ修道女会		
合計	247(2)	42

司祭・修道士

	司 祭		修 道 士	
	邦人	外人	邦人	外人
教 区	19			
メリノール宣教会		22		1
オプスディ		1		
マリスト会	1	14		
聖ヴィアトール会	1	16		8
レデンブトール会	2	5		2
男子エスコラビオス修道会		5		1
男子跳足カルメル修道会		3		1
ドミニコ会	1	1		
フランシスコ会		1		
合 計	24	68	0	13

社会福祉施設

伝道士(婦)

	男	女
信徒	8	10
修道者	1	24

	数	男(児)	女(児)
病院	2	※ベッド数300	
養護施設	1	0	46
保育園	8	420	368
老人ホーム	4	59	217
心身障害者施設	4	171	164
寮	6	11	87

教育施設

() 内は信徒数

	数	男	女
大 学	1		1,208 (22)
短 期 大 学	1		769 (18)
高 等 学 校	9	1,731 (23)	3,022 (78)
中 学 校	7	733 (14)	1,238 (54)
小 学 校	3	845 (31)	1,110 (47)
幼 稚 園	26	2,275 (60)	2,367 (74)

教区教勢統計について

先ず全体的に見て、信徒数は少しずつ増えているので、京都教区内総人口に対する信徒数の比も暫増している。最近四年間(一九七八年~一九八一年)の統計を並べてみると、「78年~'79年は○・三○五%増、'80年は○・三○七%増、'81年○・三一%増となる。此の四年間の比較を全体にわたって見て目立つ点は、次のようにある。

①司祭数—暫減、修道者数—暫減、
 ②主日・復活祭ミサ参加者—増、
 ③結婚—増。これに対して減少しているものをあげると、①求道者数—暫減、
 ②生方など苦労の多いことと察せられる。
 また幼稚園児の中のカトリック信者数は、
 男女70人前後、女児75人前後であるが、
 カトリック系小学校に入るものは男児の半
 数、女児の約三分の二で、その他の園児
 は大部分公立小学校に入ると思われる。
 非宗教的環境の学校に進む子供たちの宗
 教教育が特に大切になってくる。家庭で
 教育が特に大切なのは、子供の数の
 減少だけが原因なのだろうか。その辺を
 しっかり見る必要があるようと思われる。

教育者数も減少しているのは、子供の数の
 減少だけが原因なのだろうか。その辺を
 しっかり見る必要があるようと思われる。
 先ず全体的に見て、信徒数は少しずつ
 増えているので、京都教区内総人口に対
 する信徒数の比も暫増している。最近四
 年間(一九七八年~一九八一年)の統計
 を並べてみると、「78年~'79年は○・三○
 五%増、'80年は○・三○七%増、'81年○・
 三一%増となる。此の四年間の比較を
 全体にわたって見て目立つ点は、次のよ
 うである。①司祭数—暫減、修道者数—
 暫減、②主日・復活祭ミサ参加者—増、
 ③結婚—増。これに対して減少している
 ものをあげると、①求道者数—暫減、
 ②生方など苦労の多いことと察せられる。
 また幼稚園児の中のカトリック信者数は、
 男女70人前後、女児75人前後であるが、
 カトリック系小学校に入るものは男児の半
 数、女児の約三分の二で、その他の園児
 は大部分公立小学校に入ると思われる。
 非宗教的環境の学校に進む子供たちの宗
 教教育が特に大切になってくる。家庭で
 教育が特に大切なのは、子供の数の
 減少だけが原因なのだろうか。その辺を
 しっかり見る必要があるようと思われる。

■ 小教区概況

地区名	教会名	信徒数		ミサ参加		求道者	洗礼			結婚	転入	転出	教会学校		死亡	
		総数	実数	(1980年)	日曜日		成人	幼児	臨洗				信	未		
京都府内	河原町	1,681	1,642	1,623	750	1,100	35	21	5	2	34	49	39	70	136	9
	西院	1,140	795	773	200	300	10	18	12	1	8	25	20	33	11	4
	衣笠	846	626	553	177	279	12	1	3	0	7	21	22	35	3	2
	高野	414	347	328	251	309	48	24	6	2	16	25	31	46	0	5
	桃山	624	615	594	120	200	9	5	9	2	5	26	16	40	10	4
	九条	545	392	388	80	130	2	5	4	0	0	6	11	20	40	0
	桂	617	554	525	170	230	15	10	14	1	4	42	23	60	15	2
	伏見	366	357	353	120	250	22	10	8	0	5	11	42	27	20	3
	山科	480	400	384	150	300	7	1	8	0	1	24	12	25	5	0
	西陣	367	319	319	90	150	1	7	2	2	10	2	9	20	7	3
	小山	261	253	247	50	80	0	4	3	1	1	6	5	12	10	2
	北白川	225	165	165	70	120	6	6	4	0	3	0	10	13	0	0
小計		7,566	6,465	6,252	2,228	3,448	167	112	78	11	94	237	240	401	257	34
京都府南部	田辺	720	713	689	270	460	13	13	8	0	7	21	18	35	103	0
	宇治	571	546	516	185	410	14	11	7	1	3	24	12	28	50	1
	園部	230	230	230	50	100	5	2	0	0	1	0	0	10	30	2
	青谷	248	214	212	80	150	1	0	3	2	0	0	0	55	0	1
	長岡	286	273	166	90	150	4	3	1	0	0	10	9	11	23	1
	亀岡	130	126	113	70	90	3	8	1	0	0	7	0	25	10	0
	小計	2,185	2,102	1,926	745	1,360	40	37	20	3	11	62	39	164	216	5
京都府北部	網野	134	132	128	25	50	3	3	1	0	0	2	1	9	3	0
	報恩寺	669	321	326	30	56	0	2	0	1	5	0	1	20	5	4
	宮津	379	348	361	160	225	7	7	0	4	6	5	16	29	10	8
	西舞鶴	392	357	363	130	200	0	3	0	1	1	0	0	38	5	9
	加悦	249	249	241	70	120	3	12	0	0	1	3	3	20	12	4
	岩滝	192	192	191	80	90	3	6	2	1	1	3	6	24	2	4
	綾部	110	108	111	20	50	2	1	0	1	0	1	2	4	18	1
	東舞鶴	169	130	124	35	95	0	6	1	0	1	0	0	7	5	1
	福知山	93	92	94	20	40	4	2	1	0	0	1	6	8	47	0
	大宮	177	168	172	50	80	1	0	0	0	2	0	3	6	0	1
	峰山	143	104	73	40	60	8	1	1	0	3	33	3	7	11	1
	小計	2,707	2,201	2,184	668	1,066	31	43	6	8	20	48	41	172	118	33
京都府計		12,458	10,768	10,362	3,633	5,874	238	192	104	22	125	347	320	737	591	72
滋賀県	草津	589	586	537	260	413	7	5	10	8	2	33	17	70	6	5
	大津	500	274	262	120	380	10	10	7	0	4	22	17	48	53	1
	彦根	297	285	288	65	150	3	1	2	0	2	10	3	13	6	0
	長浜	106	106	98	16	34	1	1	1	0	0	7	1	5	20	0
	唐崎	122	80	72	60	70	4	3	0	1	0	11	6	0	90	1
	小計	1,614	1,331	1,257	521	1,047	25	20	20	9	8	83	44	136	175	7

地区名	教会名	信徒数		ミサ参加		求道者	洗礼			結婚	転入	転出	教会学校		死亡	
		総数	実数	(1980年)	日曜日		成人	幼児	臨洗				信	未		
三重県	四日市	789	457	463	245	300	10	5	2	0	3	22	97	95	5	2
	松坂	446	162	361	221	255	6	17	2	1	1	4	3	27	4	13
	伊勢	508	366	372	70	200	36	3	2	1	2	1	10	11	10	2
	津	324	324	315	146	297	6	2	3	0	7	13	6	13	27	5
	桑名	220	190	221	60	120	1	2	5	0	0	7	39	0	60	1
	鈴鹿	239	239	226	50	120	17	6	3	1	3	18	14	19	33	0
	久居	157	157	152	55	90	0	3	0	1	0	9	5	0	3	3
	上野	142	139	137	70	88	2	0	0	0	2	6	4	17	39	0
	津南	118	118	120	30	50	0	1	3	1	0	2	7	0	26	1
	龟山	61	49	44	20	30	4	1	1	0	0	5	0	9	0	1
奈良県	尾鷲	42	40	44	24	31	5	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	名張	76	76	66	45	60	3	0	0	1	0	15	6	4	10	0
	小計	3,122	2,317	2,521	1,036	1,641	90	40	21	6	18	102	192	195	217	29
	奈良	819	761	758	300	450	58	6	5	2	3	16	20	68	167	6
	高田	491	486	486	191	370	6	2	3	1	3	11	16	31	286	1
	郡山	377	377	372	150	180	10	0	0	3	2	11	21	45	80	0
	八木	288	285	275	80	150	2	6	7	0	1	11	13	7	179	1
	登美ヶ丘	399	399	359	230	350	10	10	13	1	2	19	0	47	262	2
富雄	富雄	269	269	252	90	140	10	9	2	0	0	21	14	9	22	1
	御所	134	118	118	80	100	5	1	0	0	0	4	0	9	130	5
	小計	2,777	2,695	2,620	1,121	1,740	101	34	30	7	11	93	84	216	1,126	16
	総計	19,971	17,111	16,760	6,311	10,302	454	286	175	44	162	625	640	1,284	2,109	124



(堅信: 総計 378)

1982年3月15日

京都教区事務所

タイプ・活版 オフセット } 各種印刷 今道印刷 〒602 京都市上京区天神筋一条下 ル下堅町152 電話(075)463-6024番	厚志社 TEL 817-3506 右京区嵯峨野開町	尽くす事をモットーに奉仕させて いただきます。 御葬儀一切の業務を厚く皆様に	「現代っ子の 信仰教育」 一グリンペイに基づく教会学校教科書 「ワークブック」 小学1年～6年・各3冊 ※お問い合わせは教理センターへ
---	--	--	---

感

謝

典

禮

(下)

前号でミサの交わりの儀について
イ、主の祈り

ロ、副文

ハ、平和の挨拶

と見て来ました。もう少ししづけて交
わりの儀を見て行きましょう。

三、交わりの儀(つづき)

二、パンを裂く(割る)初代教会ではミ
サのことを「パンを裂く式」と呼んでい
たようですが(使徒行録2:42,46参照)、

パウロがコリント教会の手紙で「わたし
たちが手で分けるパンは、キリストの体
を食べて一致することではありませんか。
パンは一つなので、わたしたちは大勢で
であっても、一つの体です。皆その一つ
のパンをいつしょに食べるからです」(コ
リント10:16-17)とのべているように、
大きなパンを裂いて皆で分けさせていた
いきました。そしてそれは一つのキリス
トを分かち合う、一致のシンボルとなっ
て、ミサの重要な要素となっていました。
ところが9世紀ごろから少しずつローマ
典礼に、種なしパンを使う習慣が広がり
だし、普通のパンというよりも保存、分
割などに便利なウエハース状のホスチア
が使われるようになりました。それでも
最初は、大きな(たぶん何十人分もある)
ホスチアを使っていたようですが、聖体

で礼拝する事が中心となつて来た12世紀
には、聖体拝領をする信者がいないので
司祭用の中位の大きさのホスチアのみを
使い、大きな祝日などに信者の聖体拝領
が多いときには、小さい、はじめから分
割されたホスチアを使う現在の形となり、
「パンを裂く」という、初代教会で大切に
されなしなしと意味はすっかりなくなつ
てしましました。

それで現代の教会は、初代教会でそれ

ほど大切にされ、ミサの意味をよく表わ
すしするしである「パンを分け合う」式を

復興するように励ましています。一九六
九年に出されたローマミサ典禮書総則に
は「「するしの觀點からは、感謝の祭儀で
用いられるものは、本当に食物に見える
ものでなければならぬ。それゆえ、感
謝の祭儀のパンは、種なしパンで伝統的
な形のものも、会衆とともにさしだされ
るミサにおいて司祭がパンをいくつかの
部分に実際に割つて、少なくとも幾人か
の信者にそれを授与することができるよ
うなものであることが望ましい。……使
徒時代にはパンを割ることが端的に感謝
の祭儀を指していたのであるが、一つの
パンにおける全員一致のしるし、ならび
に一つのパンが兄弟たちの間で分けられ
ることによる愛のしるしとしての効果と
重要性を、パンを割るという行為によつ

て、はつきりと表現することができるの
である」(28)とあります。それが発行
されて13年たつても、いつこうに実現さ
れていないようです。

こうして12世紀ごろからパンを裂く式
が姿を消してしまったと、パンを裂く式に
歌う賛歌である平和の賛歌は、すっかり
意味がわからなくなつてしましました。
現在の式の中では平和の賛歌はほとんど
存在の意味がないといつても良いでしょ
う。現在では司祭が自分で用のホスチアを
三分に割つて、その小片をカリスに入れ
てしまつたことです。

ホ、聖体拝領

ラテン語や英語ではコムニオンという
言い方をします。「交わり」「一致」の意味
です。単にキリストの体を拝領するだけ
ではなく、キリストとの一致であり、同じ
キリストと一致することによって兄弟と
一致するのです。行列をつくるのもそれ
を表わしています。キリストにつながる
人々の群れです。司祭は聖体をさしだす
とき、「キリストの体」といって聖体を示
します。それに対して「アーメン(そう
です)」と答えるのは、信仰宣言です。

パンがキリストの体であること、それを
一致して私たちもキリストの体である教
會を形づくることを信じます、と宣言す
るのです。大きくはつきり答えましょう。
一致して私たちもキリストの体である教
會を形づくることを信じます、と宣言す
るのです。大きくはつきり答えましょう。
手で受けるのも、口で受けるのも自由
だいていることが誰の目からも感じられ

るような態度で受けたいものです。手で
受けける人は、清潔な手で受けるように心
がけましょう。口で拝領する習慣は10世
紀ごろから広まつた習慣で、それまでは
皆手で受けしていました。その歴史を考え
ると、「手で受けはいけない」などとい
う人もいますが、これはほとんど迷信に
す。「するしの觀點からすれば、両形態の
もとになされる拝領は、より充実した形
式を備えている。この形式においては、
感謝の会食のしるしがより完全に現れ、
新しい永遠の契約が主の血によって確認
されることが、より明確に表示され、さ
らに、感謝の会食と父の國における終末
の会食の関連が、より明確に現れる」(29)
「信者が、そのミサで聖別されたパンか
ら主のからだを拝領し、許容される場合
は杯にもあずかることは、非常に望まし
いことである」(56・4)

拝領の行列の間に歌う歌は、靈的な一
致を声の一致で表わし、喜びと行列の兄
弟的一致を表現するためです。

交わりの儀の中で重要なものは、主の
祈り、平和の挨拶、パンを裂く、拝領で
す。他のものは二次的なものといえま
す。感謝の典禮は沈黙の祈りにつづいて司
式者が代表して祈る拝領祈願で終わりま
す。(終り)

巡回教会に対する神様のお望みは何でしょうか? この世につかわされた御独り子を信じる共同体が、日常生活又は社会の中で実を豊かに結ぶことではないでしょうか。毎日神様が共同体の一人一人のメンバーに、神のあかし人として歩む知恵、忍耐、希望、喜び、あらゆる恵みを充分に与えて下さるでしょう。

実を結ぶという意味は何でしょうか?

信者の数をふやすことではないかと思う人は多いと思います。イエズス・キリストを信じて洗礼の恵みを受けることは非常にありがたいことです。しかし洗礼場までいかなくとも、人は少しでも教会共同体のあかしを通じて、神様の愛を日常

説教
27

巡回教会のあり方

生活の中で体験出来るチャンスが多いのではないかでしょうか。

私達の教会は小さいし、信者は少いで

す。何も出来ませんと言えるかもしれません。全世界に広まつたキリスト教は、少人数の弟子から始まりました。聖霊は初代教会の上にあらゆる賜物をそいで下さったと同様に、現代の巡回教会の上にも同じ賜物をそいで下さると思いませんか。洗礼と堅信の秘蹟を受けた時に、聖霊は現代共同体に一つの賜物も与えられないでしょうか。

冬の間土の中へ暖かい春を待つ種子の

よう、現代巡回共同体の一人一人のメンバーや協力と労力を待っているのでは

ないでしょうか。

—デュマヌ神父—

中小教区の貢中

山国青年がたてた教会



教区長さんが「青年秋季学校」の講師の

一人として、山国にお見えになつたことが動機で一段と研究グループに拍車をかけることになつた。研究グループに司祭、伝導士が派遣され系統だてて指導をうけたものではなく、全く自由活歩に振舞い、

長さんから警告をうけたものだつた。

その後、園部教会の管轄に属し、漸くにして司祭・伝導士がみえるようになり、

まぎなりにも一つの教会として歩み出

した。その頃は男の子どもばかりといつた奇異な教会で、力にならないとその筋

からいわれていたが、その当時の子ども

が今では教会の中堅として活躍している。

この頃、宣教の拠点として伝導館が欲

しいとして、教区へ建設を再三再四懇請

したが、信徒の一人や二人では維持も困難だからと仲々イエスとならず、執拗に

懇請の結果、冒険だが建てようと決まつた。そして昭和三十一年十一月、仏教一

色、封建性の強い当地に、住民注視の中で献式を挙げた。

信徒もぼつかつ生れたが、中には坐折

する者、転出する人も出て、はるばる巡回くださる司祭の努力、犠牲の多い割り

合に一向実効が挙がらない。こうした

中で15年目の秋に聖体行列をしたいと計

画したが、少ない信者でそんな無駄な

ことはやめよ……と。しかし慈愛に満ちた神は力を貸して下さり、衣笠をはじめ

ミサに欠席勝ちな信者も、教会の環境整備となると喜んで天理教の真似やないがヒノキシンといって殆んど人が労務奉仕する。このエネルギーを自身の靈性の向上と宣教の一翼に回したら素晴らしいものになると思う。(文責/新井)



三度目のカンボジア訪問(続)

12月25日～1月7日

12月27日、私達はタイ側の最後の大きな都市アラヤプラセットに向けて出発しました。やっと部屋を予約したとたん、ノンブルへ行かねばならなくなり、再びトラックに乗り無事そこに着く事が出来ました。難民はとても喜び、共にクリスマスの挨拶を交し合いました。立派な

「これは神父さんモグラ、珍しいことで。どうぞ、どうぞ」
「このところマジメに教会行く教会がちょっとづつ変っていくのさ、このヒゲを感じるからで

「そう云や、ハンカクとかグンシユクとかいう運動も頑張つとる」「ワシも映画や写真を見たが、言葉をなくすとは、あのことですわ」「ワシら難いことわからんが、ともかく

●第16回信徒使徒職養成コース
日時 7月16日(金)3PM～19日(月)4PM
場所 宇治カルメリ会黙想の家
コース 基礎コース
●講演「社会を動かす信仰」
問合せ先 京都カトリック教理センター
日時 6月20日(日)PM2～PM4：30
場所 信愛幼稚園3階



カンボジア紳士であるマリマンさんが自分で描いた寺の設計図を見せてくださった時、「私はカンボジアスタイルの美しい神のための家を見たい」と言いますと、彼は美しいフランス語で、「私も神さまを信じます」と言い、テーブルの回りの数人の人々も同じ様に信仰告白をしました。

寺は、数個の村の間の美しい場所に建てる予定になっています。私たちはその予定地に向って高いボーと云う象の背中にすわって出発しました。その時私はポケットから、ポケット判の聖書を取り出して開いてみますと詩編116を朗読しました。何んと今の私達の心にぴったりする祈りの言葉でしょう。私は隣の小野先生にその箇所を示しながら、とにかく喜んで吟誦するだけで満足しないでしょう。(丘の頂きから

でなくとも)高いボーの背中の上から、これを叫ばねばなりません」と言いました。予定地につくと12人ほどの人が、木を切り倒し、草を刈つたりしていました。ここは全ての人が来て平和の中に再び神を宣言する新しいエルサレムです。私は突然ふりむいて、五頭の象を前に米させ半円を作る様に指図し、私の一番強

いホーマンの声で、あの詩編116を朗読しました。人々は私達の熱情に加わっていました。地獄の様な苦しみの中に生ききた人々にとって、神はこのジャングルの真中に生きておられる事を知り、内なる喜びの中に生きていくことでしょう。

小野先生と私は象からすべり下り、地に跪いて、難民の一人に穴を掘ってくれる様に頼み、そこにロザリオを落とし、天と地の生きている神に捧げる為に聖書をスで云うかもしれない。もう、そうなつた

イル飛んでくるときにや、きっとわかるんじやないですか。テレビの臨時ニュースで云うかもしれない。ワシら、ミサイル飛んでおしまった。ワシら、ミサイル飛んでくるの待つだけですね」「その時、後悔したくなんだ。平和に對してきびしい目もつてりや良かった、何か行動しておけば良かった、と思つて

●「社会とともに歩む教会」勉強会
講師 山田経三師 安藤勇師
7月11日 「世界の飢え」
9月12日 「難民・流民」
10月10日 「教会の社会的教化」
於河原町カトリック会館

治だと社会の問題に口出す
しすんの、ご法度みたいなところあったのに、変りましたな」
「社会とともに歩む教会とかいうので、皆んなと手とりあって、お互に学びあってやつていこうというの、いいですね」
「まあ、まだ自分が天国入ることしか考

皆んなで祈るやないか

く、溶けてなくなつてしまつたり、真黒こげになつて死にたくない。子どもたちのそんな姿、見たくなりんです。そのために、何かしなくちゃという気に」

「思つんですがね。こんなにマスコミがにきいてくれはりますわ。ワシ信じてます」

（ア）

バラマウントニユース映画会社の記者であつた父君は、終戦直後マッカーサー元帥と共に厚木飛行場に着陸。カーティー師は昭和22年に母、姉妹と連れだって来日。東京、恵美須の自宅から聖心小学校に暫く。いたずらが過ぎて間もなく聖ヨゼフ小学校に転校という経歴がある。現在は奈良県御所市のカトリック教会の敷地内にあるベトナム難民センターの所長。顎にひげをたくわえながらも澄んだ眼に幼年のいたずらっぽさが残っているかに見える。

「東京にいた時分、メリノール会やいろいろの会の宣教師と家族のおつきあいがあつたり、私の叔父がマリスト会の神父であつたことなどが召説を考えさせるようになります」宣教のため日本に行きたいと思われたのは、幼年期を日本で過された思い出の外に何か動機がありますか?「戦後の日本はすごく貧しい時代を通して来ました。でもその後の20年はびっくりするような変り方でした。東南アジアへの日本への影響の強さを見た時、日本がクリスチヤンの態度で東南アジアの国々のためにいろいろな計画をつくるといふと思いました。それが私の日本に対するビジョンでした。東南アジアの貧しい人たちのために歩もうとする私の道は随分回り道で遠いものに見えましたがそれでもい、と思いました」それで宣教師として米日されてから、この難民センターの責任者になられるまでの経緯は?

「来日前の7年間は高等学校の先生でし



ベトナム難民に奉仕して

西大和カトリックセンター
ジエームス・カーティー師
(マリスト会)

社会と共に歩む人物記③

た。一九七一年來日。最初の2年間は倉の日本語学校に送られましたが、先生たちをがかりさせ、仕様のない生徒で来て助任司祭。大和郡山教会主任をつとめて、新しい信者のグループのいる西大和ニュータウンに移りました。この団地の中にあるお店の上にある集会室を借りて御ミサをあげてきましたが、人数がふえ、信者さん達と相談の結果西大和カトリックセンターを建てました。それが4年前のことです。そしてこの難民センタの仕事を始めたということですね。

「東京にいた時分、メリノール会やいろいろの会の宣教師と家族のおつきあいがあつたり、私の叔父がマリスト会の神父であつたことなどが召説を考えさせるようになります」宣教のため日本に行きたいと思われたのは、幼年期を日本で過された思い出の外に何か動機がありますか?「戦後の日本はすごく貧しい時代を通して来ました。でもその後の20年はびっくりするような変り方でした。東南アジアへの日本への影響の強さを見た時、日本がクリスチヤンの態度で東南アジアの国々のためにいろいろな計画をつくるといふと思いました。それが私の日本に対するビジョンでした。東南アジアの貧しい人たちのために歩もうとする私の道は随分回り道で遠いものに見えましたがそれでもい、と思いました」それで宣教師として米日されてから、この難民センターの責任者になられるまでの経緯は?

「来日前の7年間は高等学校の先生でし

ませんでしたが、アメリカ、オーストラリアと同じように日本は自由な国だから難民を受け入れて行くべきだと思います。たとえ受け入れる人数は僅かでも、多くの日本人の人達が心を開いて彼等に理解を示し、ボランティアとして難民のニードに応えていてほしいですね。特に定住を希望している人達には、日本の社会に早く順応できるよう習慣とか、文化とかを教えるなければなりません。出来ただけいろいろな方法で具体的に暖い心で協力してほしいですね。オーストラリアでは、ボランティア

グループが当番制でバスの乗り方、銀行の利用の仕方など細かな指導をし、どんく難民定住者が本当に独立できるように努力しています」

現在のお仕事について、

◆開病生活をしていられるT師が、聖体の一かけらを無事にたしかめた時、「バンザイ!いただけた!バンザイ」と叫けば叫ばれた時の感動を忘ることは出来ません。御聖体の秘跡の偉大さと師の信仰の喜びを分け合っていただけなら(MT)

◆国連軍縮会議の月です。平和と呼びながら右傾化する日本。でも神の民には右道こそが平和への道。私たちのおかれた場所。時を使い、私たちのやり方でその道に進みましょう。それこそが京都教区のビジョン具体化。(Y)

◆春が来ないかな、と思っているうちに、春がどっときて、いつしょに夏もやってきて、暑い日がありました。梅雨の出番がないまま夏を迎えては、紫陽花がかわいそうです。(亜)

◆「光陰矢の如し。なーんていうもんじやないくらい日の過ぎるの早いこと!」(き)氏もこのところ仕事に追われっぱなしです。そして6月!一年がもう半分すんじやつたなんて!皆さん、恵みにみなければダメですね。西大和の信者さん達にも「神父さん、もう少し祈つて下さいい」と励まされています。43才の働きざかり。

藤堂師は24日夕方7時頃、神の御許に帰つて行かれました。御冥福を祈ります。冠頭の言葉を書きかえようかと思いましが、そのままにしました。さみしい。

健康に注意して頑張って下さい。(Y)



時報が対話
おづく書く
の手段なら
ば「互いに
も、投稿者
も編集者も」
心を開けあ